

7363 高速自動車国道料金		
品 目	銘 柄	単 位
高速自動車 国道料金	普通車、対距離制区間、100km 以内の利用、E T C を利用した場合の料金	1 回
	料金区分（固定額部分・可変額部分）別、地域区分（地方部・大都市近郊）別、割引区分（平日料金・休日料金）別	
	普通車、均一制区間、100km 以内の利用、E T C を利用した場合の料金	
	区間別、割引区分（平日料金・休日料金）別	
価格選定		
(1) 対距離制区間及び均一制区間別に価格を選定する。		
(2) 対距離制区間においては、利用 1 回に対して課される固定額部分（ターミナルチャージ）及び利用距離に対して課される可変額部分（1 km 当たりの料金）を選定する。		
(3) 均一制区間においては、区間ごとに設定された、利用 1 回に対して課される均一料金を選定する。		
(4) 価格は、割引区分（平日料金・休日料金）別の E T C 割引後価格を用いる。E T C 割引後価格は、時間帯別通行台数、割引適用日数を考慮して算出する。		
指数算出方法		
① 割引区分 (d) 別の E T C 割引後価格について、原則として基準年の日数 (A) を用いて加重平均し、料金区分 (a) 別、地域区分 (b) 別及び区間 (c) 別の平均価格をそれぞれ算出する。		
$P_{t,a,b} = \frac{\sum_d P_{t,a,b,d} A_d}{\sum_d A_d}$		
$P_{t,c} = \frac{\sum_d P_{t,c,d} A_d}{\sum_d A_d}$		
② 対距離制区間の場合		
ア 基準時価格で除して、料金区分別、地域区分別の指数を算出する。		
$I_{t,a,b} = \frac{P_{t,a,b}}{P_{0,a,b}} \times 100$		
イ 料金区分別、地域区分別の料金収入割合 (w) を用いて加重平均し、対距離制区間の指数を算出する。		
$I_{t,対} = \frac{\sum_{a,b} I_{t,a,b} w_{0,a,b}}{\sum_{a,b} w_{0,a,b}}$		
③ 均一制区間の場合		
ア 基準時価格で除して、区間別の指数を算出する。		
$I_{t,c} = \frac{P_{t,c}}{P_{0,c}} \times 100$		
イ 区間別の料金収入割合 (w) を用いて加重平均し、均一制区間の指数を算出する。		
$I_{t,均} = \frac{\sum_c I_{t,c} w_{0,c}}{\sum_c w_{0,c}}$		
④ 対距離制区間及び均一制区間別の料金収入割合 (w) を用いて加重平均し、品目別価格指数を算出する。		
$I_t = \frac{I_{t,対} w_{0,対} + I_{t,均} w_{0,均}}{w_{0,対} + w_{0,均}}$		
価格指数の適用		
全国一律		

t : 比較時、0 : 基準時  
 a : 料金区分  
 b : 地域区分  
 c : 区間  
 d : 割引区分